

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 21 年 4 月 23 日 (2009.4.23)

【公開番号】特開 2007-272266 (P2007-272266A)
【公開日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)
【年通号数】公開・登録公報 2007-040
【出願番号】特願 2006-93449 (P2006-93449)
【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

G 0 6 Q 10/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 0 4

G 0 6 F 19/00 3 0 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 11 日 (2009.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも複数の工事項目、契約情報及び第 1 の索引情報を対応付けて表形式で格納する契約明細ファイルを記憶する契約明細記憶手段と、

前記各工事項目に対応する複数回分の出来高情報及び第 2 の索引情報を対応付けて表形式で格納する出来高明細ファイルを記憶する出来高明細記憶手段と、

前記各工事項目に対応する出来高情報を入力するための入力手段と、

前記出来高情報の入力毎に、前記各工事項目に対応する出来高情報を前記出来高明細ファイルに格納させるとともに、前記第 1 の索引情報及び前記第 2 の索引情報として共通又は対応する索引情報を前記契約明細ファイル及び前記出来高明細ファイルにそれぞれ格納させる格納制御手段と、

前記第 1 の索引情報及び前記第 2 の索引情報に基づいて、前記各工事項目と当該各工事項目に対応する複数回分の出来高情報とを記載した出来高明細書を印刷装置に印刷させる印刷制御手段と、

を備えたことを特徴とする出来高管理システム。

【請求項 2】

前記契約明細ファイル中の前記工事項目及び前記契約情報を行単位で追加する追加手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の出来高管理システム。

【請求項 3】

前記契約明細ファイル中の前記工事項目、前記契約情報及び前記第 1 の索引情報を行単位で削除する削除手段を備えたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の出来高管理システム。

【請求項 4】

前記印刷制御手段は、前記契約明細ファイルから前記各工事項目に対応する第 1 の索引情報を取得し、当該取得された第 1 の索引情報と共通又は対応する第 2 の索引情報を前記出来高明細ファイルから検索し、当該検索された第 2 の索引情報に対応する出来高情報を前記出来高明細ファイルから取得し、当該取得された出来高情報を前記出来高明細書における前記各工事項目に対応する印刷対象として設定することを特徴とする請求項 1 ～ 3 の

いずれか一項に記載の出来高管理システム。

【請求項 5】

前記出来高情報は、出来高金額、出来高数量、出来高金額率又は出来高数量率であることを特徴とする請求項 1～4 のいずれか一項に記載の出来高管理システム。

【請求項 6】

コンピュータを、

少なくとも複数の工事項目、契約情報及び第 1 の索引情報を対応付けて表形式で格納する契約明細ファイルを記憶装置に記憶させる手段、

前記各工事項目に対応する複数回分の出来高情報及び第 2 の索引情報を対応付けて表形式で格納する出来高明細ファイルを前記記憶装置に記憶させる手段、

前記各工事項目に対応する出来高情報を入力させる手段、

前記出来高情報の入力毎に、前記各工事項目に対応する出来高情報を前記記憶装置の出来高明細ファイルに格納させるとともに、前記第 1 の索引情報及び前記第 2 の索引情報として共通又は対応する索引情報を前記記憶装置の契約明細ファイル及び前記記憶装置の出来高明細ファイルにそれぞれ格納させる手段、

前記第 1 の索引情報及び前記第 2 の索引情報に基づいて、前記各工事項目と当該各工事項目に対応する複数回分の出来高情報とを記載した出来高明細書を印刷装置に印刷させる手段、

として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 1 に記載の出来高管理システムは、少なくとも複数の工事項目、契約情報及び第 1 の索引情報を対応付けて表形式で格納する契約明細ファイルを記憶する契約明細記憶手段と、前記各工事項目に対応する複数回分の出来高情報及び第 2 の索引情報を対応付けて表形式で格納する出来高明細ファイルを記憶する出来高明細記憶手段と、前記各工事項目に対応する出来高情報を入力するための入力手段と、前記出来高情報の入力毎に、前記各工事項目に対応する出来高情報を前記出来高明細ファイルに格納させるとともに、前記第 1 の索引情報及び前記第 2 の索引情報として共通又は対応する索引情報を前記契約明細ファイル及び前記出来高明細ファイルにそれぞれ格納させる格納制御手段と、前記第 1 の索引情報及び前記第 2 の索引情報に基づいて、前記各工事項目と当該各工事項目に対応する複数回分の出来高情報とを記載した出来高明細書を印刷装置に印刷させる印刷制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 6 に記載の発明は、コンピュータを、少なくとも複数の工事項目、契約情報及び第 1 の索引情報を対応付けて表形式で格納する契約明細ファイルを記憶装置に記憶させる手段、前記各工事項目に対応する複数回分の出来高情報及び第 2 の索引情報を対応付けて表形式で格納する出来高明細ファイルを前記記憶装置に記憶させる手段、前記各工事項目に対応する出来高情報を入力させる手段、前記出来高情報の入力毎に、前記各工事項目に対応する出来高情報を前記記憶装置の出来高明細ファイルに格納させるとともに、前記第 1 の索引情報及び前記第 2 の索引情報として共通又は対応する索引情報を前記記憶装置の契約明細ファイル及び前記記憶装置の出来高明細ファイルにそれぞれ格納させる手段、前

記第 1 の索引情報及び前記第 2 の索引情報に基づいて、前記各工事項目と当該各工事項目に対応する複数回分の出来高情報とを記載した出来高明細書を印刷装置に印刷させる手段、として機能させるためのプログラムである。